



淋証の中医弁証論治

黄 懷龍

当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。

一、はじめに

(一) 定 義

淋証とは、頻尿・尿急迫・出が悪く排尿痛を主症状とする病証である。

[西洋医学の関連疾患]

- ①尿路感染症：急性感染症・慢性感染症
- ②尿路結石症：腎・尿管・膀胱・尿道結石
- ③前立腺疾患：前立腺炎・前立腺がん
- ④化学性膀胱炎：抗がん剤などによる膀胱炎
- ⑤膀胱頻尿症：不安定膀胱・神経性頻尿症

二、病因病機

(一) 病 因

- 1) 外感湿熱：陰部が不潔で湿熱濁邪が侵入し、膀胱で蘊結して、膀胱の気化機能が失調。
- 2) 内傷飲食：辛いもの、油濃いもの、過度飲酒により、脾胃運化失調、湿熱内生、膀胱に注ぐ、膀胱気化失調。
- 3) 情志失調：情志の失調で肝気が鬱結、膀胱気機失調、又気鬱化火、気火が膀胱に鬱結。
- 4) 虚弱体質・過労・持病：脾虚中気下陷、腎気虚弱、膀胱気化失司。

(二) 病 機

1) 基本病機：

湿熱が下焦で鬱結して、腎と膀胱の気化機能が失調する。

2) 病 位：

主に膀胱と腎で、肝、脾とも関連する。

3) 病理の性質：

初期は実に属す、久病によって虚に転じる、虚実挟雑になる

病因病機

外感濕熱 — 陰部不潔 穢濁內侵
濕熱形成、內結膀胱

飲食不節 — 辛い食物 脂っこい
過度飲酒 濕熱形成

情志失調 — 肝氣鬱結 膀胱氣滯
氣鬱化火 氣火鬱結

脾腎虛弱 — 虛弱體質 高齡持病
房勞過度 下元不固

膀胱濕熱
氣化失司

淋
証

三、弁証論治

（一）類証鑑別

淋証と癃閉の弁別

| 症 状 | 淋 証 | 癃 閉 |
|---------|-----|-----|
| 尿少、排尿困難 | ある | ある |
| 頻尿、排尿痛 | ある | なし |
| 総尿量 | 普通 | 少ない |

血淋と血尿の弁別

| 症 状 | 血 淋 | 血 尿 |
|-----|-----|-----|
| 尿 血 | ある | ある |
| 排尿痛 | ある | なし |

膏淋と混濁尿の弁別

| 症 状 | 膏 淋 | 混濁尿 |
|---------------|-----|-----|
| 尿濁、米のどき汁ようになる | ある | ある |
| 頻尿、排尿痛 | ある | なし |
| 総尿量 | 普通 | 少ない |

(二) 弁証のポイント

1) 淋証の弁証根拠

- ①膀胱の気化不利による症候：頻尿・尿急迫・排尿痛
— 淋証の診断証拠
- ②他の症候：各種淋証の特殊な症候—各種淋証の鑑別
診断証拠

2) 各種淋証の特徴

| | 症 状 |
|-----|---|
| 熱 淋 | 排尿時に灼熱感と刺痛を伴う |
| 石 淋 | 尿路結石に伴う排尿障害、尿と共に石が排出されること、激痛を伴う |
| 気 淋 | ストレスによる神経性の排尿困難、少腹部の脹満感・スムーズに排尿できない、排尿後に余瀝がある |
| 血 淋 | 血尿と排尿痛を伴う |
| 膏 淋 | 米のどき汁な排尿痛と白濁尿、或はペースト状を伴う |
| 労 淋 | 排尿痛と小便淋瀝、疲労により誘発される |

3) 虚実弁証

発症初期或は発作期：実—湿熱が鬱結して、膀胱の気化機能が障害される

慢性化：虚—脾腎両虚によって、膀胱の気化機能が無力になる。

(三) 治療原則

実証：おもに清熱・利湿・通淋・佐として行気する。

虚証：健脾補腎益気

虚実挟雑：補脾益腎・利湿通淋

1、熱 淋

【症状】小便短数、灼熱刺痛・溺色黄赤・小腹拘急脹痛、或いは寒熱、口苦、嘔惡を伴う、或いは腰痛拒按、或いは大便秘結、舌紅苔黄膩、脈数。

【治法】清熱利湿通淋

【方藥】八正散

【組成】木通、車前子、扁蓄、瞿麦、大黄、山梔子、滑石、甘草

2、石 淋

【症状】 尿に砂石が混じる、小便難澁、或いは排尿が突然中断する、尿道に激しい痛みが現れる、小腹拘急、或いは腰腹に耐え難い絞痛がする、尿中帶血、舌紅苔薄黄、脈弦或いは数を帯びる。

【治法】 清熱利湿 通淋排石

【方藥】 石葦散

【組成】 石葦、冬葵子、瞿麦、滑石、車前子

3、氣 淋

【症状】 実証：小便澁痛、淋瀝不宣、少腹滿痛、舌淡紅、苔薄白・多くは脈沈弦。

虚証：少腹墜脹、排尿後に余瀝、面色㿔白、舌質淡、脈虚細無力。

【治法】 実証：理気疏導 虚証：補中益気

【方薬】 虚証：沈香散 虚証：補中益気湯

【組成】 沈香、石葦、滑石、当帰、橘皮、芍薬、冬葵子、甘草、王不留行

4、血 淋

【症状】 実証：小便熱澁刺痛、尿色深紅、或いは血塊が混じる、疼痛満急が酷くなる、或いは心煩、舌紅苔黄、脈滑数。

虚証：尿色淡紅、尿痛澁滯は顕著でない、腰酸膝軟、神疲乏力・舌淡紅・脈細数。

【治法】 実：清熱通淋 涼血止血 虚：滋陰清熱補虚止血

【方藥】 実：小薊飲子 虚：知柏地黄丸

【組成】 生地黄，小薊，滑石，通草，炒蒲黄，竹葉，藕節，
当歸，山梔子，甘草、木通、竹葉

5、膏 淋

【症状】 実証：小便が米のとぎ汁のように混濁して、尿を放置すると下には綿のようなものが沈殿して、上には油膜のようなものが浮く。或は凝結したものが混じり、或いは血液が混じる。尿道熱澁疼痛、舌紅苔黄膩、脈濡数。

虚証：病が遷延、反復発作を起こし、尿は脂のようになるが澁痛は返って軽減する。しかし日増しに痩せ衰え、頭昏無力・腰膝酸軟・舌淡苔膩・脈細弱無力。

【治法】 実：清熱利湿 分清泄濁 虚：補虚固澁

【方薬】 実：程氏萆薢分清飲 虚：膏淋湯

【組成】 萆薢、車前子、茯苓、蓮子心、石菖蒲、黄柏、丹参、白朮（山藥、欠実、竜骨、牡蛎、生地黄、党参、芍薬）¹⁵

6、労 淋

【症状】 小便の赤渋は甚だしくないものの、淋瀝は止まらない。時々発作を起こし、過 労で誘発される。この他、腰酸膝軟、神疲乏力、舌質淡・脈虚弱を伴う。

【治法】 健脾益腎

【方薬】 無比山藥丸

【組成】 山藥、肉苁蓉、熟地黄、山茱萸、茯苓、兔絲子、五味子、赤石脂、巴戟天、沢瀉、杜仲、牛膝



お疲れ様でした！